

**株式会社 東海理化**

(登記社名：株式会社 東海理化電機製作所)

**愛知県「知の拠点あいち重点研究プロジェクト IV期」に採択**

～遠隔監視高度化技術で自動運転技術のスマートシティへの応用開発の一翼を担う～

株式会社東海理化(本社：愛知県丹羽郡大口町 代表取締役社長：二之タ 裕美)は、アイサンテクノロジー株式会社(本社：愛知県名古屋市 代表取締役社長：加藤 淳)と名古屋大学(所在地：愛知県名古屋市)の2企業1機関と共に、愛知県、公益財団法人科学技術交流財団が実施する「知の拠点あいち重点研究プロジェクト IV期(※1)」に採択されました。

「知の拠点あいち重点研究プロジェクト IV期」は愛知県が策定する「あいち科学技術・知的財産アクションプラン 2025(※2)」の「研究開発の方向性」に基づき実施されるプロジェクトであり、当社を含む2企業1機関は第4次産業革命をもたらすデジタル・トランスフォーメーション(DX)の加速を目指す「プロジェクトDX」にて、『自動運転技術のスマートシティへの応用』を研究開発テーマとして実施します。

当社は自動運転車両を遠隔で監視する技術を高度化することで、自動運転技術のスマートシティへの応用研究に安全運行技術開発の領域で参画します。

※1.知の拠点あいち重点研究プロジェクト IV期:

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/san-kagi/juten4koubo.html>

※2.あいち科学技術・知的財産アクションプラン 2025:

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/san-kagi/action2025.html>

## 【『自動運転技術のスマートシティへの応用』研究開発体制・役割分担】

企業・機関	研究開発領域	研究開発項目
東海理化	安全運行技術開発	遠隔監視高度化技術/フィールド検証/PoC(※3)、 実用化推進
アイサンテクノロジー	研究統括 ・高精度地図配信、点群データ活用、MaaS-自動運転連携、安全運行技術開発 ・PoC、実用化推進	・高精度地図配信技術、LiDARデータ利活用技術開発 ・MaaS デマンドシステム-自動運転システム連携用ツール開発 ・遠隔監視高度化技術開発 ・フィールド検証/PoC、実用化推進
名古屋大学	自動運転車とのインフラ連携	インフラ-自動運転システム連携技術/フィールド検証/PoC、実用化推進

※3.PoC: Proof of Concept の略。新しい概念や理論、原理、アイデアの実証を目的とした、試作開発の前段階における検証やデモンストレーション

&lt;問い合わせ先&gt; 株式会社東海理化 総務部広報室 (Tel0587-95-5211)